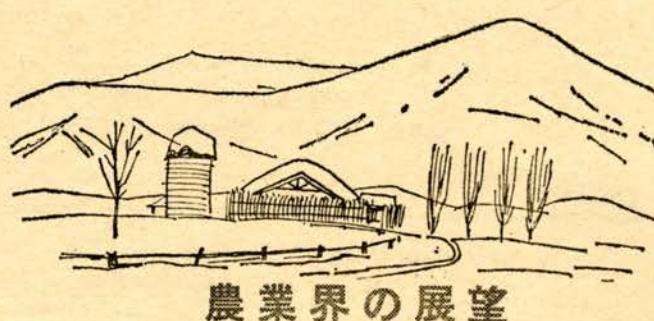




第三種郵便物認可  
昭和40年1月10日



## 農業界の展望

ん少なくなつてゆくようですが、残った農家の経営はどうなつているんでしょうか。

太郎君 当市の農地はご承知のように火山灰地で地力はないし、海霧の影響で日照時間も少ないので、いきおい農作物よりも酪農とか養鶏などの畜産に指向してゆくことになりますね。

昭和三十年の牛の飼養戸数は二百四十五戸、総頭数は七百一頭で一戸平均二・九頭であったものが、昭和三十八年には、飼養戸数二百五十戸と七戸ふえ、総頭数は千六百一頭と九百一頭の増加で、一戸平均六頭となりっています。

花子さん 酪農で経営が成り立つには、一戸でどのぐらいの牛の頭数を飼うことになるんでしょうか。

太郎君 大体八頭以上の成乳牛が必要でしょう。これとともに更新牛が三頭から五頭ぐらいも必要となります。

花子さん 牛や役肉牛など全部含めて八頭以上で飼うことはどうなつてているんでしょうか。

太郎君 農業の現状をみますと農業地帯の造成ということで一生懸命やつていますが、農業関係はどうなつていています。

花子さん 苦小牧はいま、臨海工業地帯の造成などで一生懸命

ついているんでしょうか。

太郎君 農業の現状をみますと農地が宅地、工場用地などに転用される傾向が著しく、農家も他産業に転換するものが相当数ありますね。

花子さん 昭和三十年の農家総数は八百四十四戸となりましたから、かなり努力のあと見受けられるわけです。

花子さん 牛を飼うには、飼料を栽培する畠の面積も考えられなければなりませんね。

太郎君 そのとおりです。一様に花子さん 苦小牧の状況はどうなつていています。

花子さん 牛を飼うには、飼料を栽培する畠の面積も考えられなければなりませんね。

太郎君 それは昭和三十八年には六百十二戸と一百三十二戸の減少で、昭和三十年を二〇〇戸とすれば昭和三十八年は七一の指數にとどまっています。

花子さん 農家の傾向をみると、昭和三十年の二百六十二戸で指數は八五八年は二百二十三戸で指數は八五

となっています。

太郎君 それがやはりまだ理想に花子さん 農業を営む人がだんだん

ね。經營耕地の総面積をみますと、つた農家の経営はどうなつているんでしょうか。

昭和三十年は二千四百四十二戸が昭和三十八年は二千六百五十六戸と二四

戸の増加となり、一戸あたり二・五

戸から四・五戸と伸びています。も

つともこの数字は、牛を飼っている農家も含まれていますから、牛を

飼っている農家だけの耕地面積はも

つと伸びていることも考えられます

がね。

牛を飼っている農家の平均經營耕

地は一戸平均大体八戸のほか、草地

五戸程度が見込まれています。

花子さん 飼料のたりない分は購入

することになるわけですね。

太郎君 そうです。經營規模は小さく、収入の状況もまだまだといわなければなりませんね。

花子さん 当面の問題として第一に考えられるることはどんなことで

よですか。

太郎君 耕地面積があるところは

酪農に切り換える必要があることで

すが、資力の問題がありますね。そ

れから經營技術もありますね

これらの解決のために農業団体

などもいつそう努力する必要があります

花子さん いま考えられているお

もな施策はどんなものでしょうか。

太郎君 昭和四十五年までには、

なんとか農業総合センターといつた

ようなものを建設して、農畜産物の

集荷貯施設(冷蔵、恒温施設)、

生産のための付帯施設(ひなを育てる施設など)も備え、農業団体事務

施設の近代化のためには、昭和三十八年度から着手しています。

太郎君 主要地帯形成、つまりその地域にも

つとも適した基幹作物を決めるこ

とから始めるわけです。

花子さん 農業、養鶏、そば栽培といふ

業、養鶏専業、乳牛と養鶏、そば専業、そば栽培といふことがあります。

太郎君 農業構造改善事業は昭和四十年から着手する予定で進められていますが、約一億一千方円の事業費が見込まれています。事業費には国・道・市費も投入されます。

花子さん 本当にご苦労も多い

ますね。

經營耕地が縮少してゆく地域では、

小規模な經營面積による經營形態に

んでしまうか。

太郎君 栽培技術、經營技術とも

抑制の栽培方法ですね。真冬にトマ

トマトありますね。

太郎君 ひと口について農業經營

の近代化ということです。

花子さん 農業構造改善事業とい

うことを聞きますがどんなことじ

ょうか。

ト、キュウウリ、メロンなどを作つて

市場に出すことですね。

太郎君 まず農業団体の育成強化

に力を入れてゆくわけです。このこ

とによって、資金の導入も容易にな

り資材、生産物の一元的な取り扱い、

もできて合理化されるわけです。

また、農畜産物の質の向上(規格

の統一など)、草地造成、乳牛導入の

援助など積極的に進めてゆくほか養

鶏、酪農などの実践研究を進めるグ

ループ、例えば乳牛經濟検定組合、

そ業栽培研究会などのようなグルー

ープの実践指導などにも力を入れてゆ

くことになります。

花子さん 昭和三十九年度の市の

草地造成は柏原に昭和四十年と昭

和四十一年の兩年度で八十戸の牧野

を造成することになっています。

花子さん 昭和三十九年度の市の

農業関係の予算とおもな事業はどう

なつていますか。

花子さん いま考えられているお

もな施策はどんなものでしょうか。

太郎君 昭和四十五年までには、

なんとか農業総合センターといつた

ようなものを建設して、農畜産物の

集荷貯施設(冷蔵、恒温施設)、

生産のための付帯施設(ひなを育てる

施設など)も備え、農業団体事務

施設の近代化のためには、昭和三十八年度から着手しています。

太郎君 主要地帯形成、つまりその地域にも

つとも適した基幹作物を決めるこ

とから始めるわけです。

花子さん 農業構造改善事業とい

うことを聞きますがどんなことじ

ょうか。

策はどうなんですか。

太郎君 まず農業団体の育成強化

に力を入れてゆくわけです。このこ

とによって、資金の導入も容易にな

り資材、生産物の一元的な取り扱い、

もできて合理化されるわけです。

また、農畜産物の質の向上(規格

の統一など)、草地造成、乳牛導入の

援助など積極的に進めてゆくほか養

鶏、酪農などの実践研究を進めるグ

ループ、例えば乳牛經濟検定組合、

そ業栽培研究会などのようなグルー

ープの実践指導などにも力を入れてゆ

くことになります。

花子さん 昭和三十九年度の市の

草地造成は柏原に昭和四十年と昭

和四十一年の兩年度で八十戸の牧野

を造成することになっています。

花子さん いま考えられているお

もな施策はどんなものでしょうか。

太郎君 昭和四十五年までには、

なんとか農業総合センターといつた

ようなものを建設して、農畜産物の

集荷貯施設(冷蔵、恒温施設)、

生産のための付帯施設(ひなを育てる

施設など)も備え、農業団体事務

施設の近代化のためには、昭和三十八年度から着手しています。

太郎君 主要地帯形成、つまりその地域にも

つとも適した基幹作物を決めるこ

とから始めるわけです。

花子さん 農業構造改善事業とい

うことを聞きますがどんなことじ

ょうか。

ど思いますが、希望をもつてやつ

ていただきたいものですね。

## 農家の経営状況

花子さん 農業を営む人がだんだん

花子さん 農業を営む人がだんだん

花子さん 目標は昭和四十五年度

花子さん さしあたての市の施策

花子さん さしあたての市の施策

花子さん 本当にご苦労も多い



